

日本学術会議 電気電子工学委員会
URSI 分科会 医用生体電磁気学小委員会 (K 小委員会)

第 24 期 第 2 回

議事録

日時：2019 年 2 月 20 日 (水), 12:00-13:00

場所：首都大学東京, 秋葉原サテライトキャンパス, D・E 会議室

出席者：

第 24 期 URSI-K 国内小委員会委員：

王建青 (名工大：委員長), 渡辺聡一 (NICT：副委員長), 齊藤一幸 (千葉大：幹事), 中園聡 (電中研：幹事), 関野正樹 (東大：幹事), 長岡智明 (NICT：幹事補佐), 齋藤淳史 (電中研：幹事補佐), 池畑政輝 (鉄道総研), 伊藤公一 (千葉大), 大久保千代次 (JEIC), 大西輝夫 (NTT ドコモ), 上村佳嗣 (宇都宮大), 佐々木謙介 (NICT), 重光司 (元 JEIC), 多氣昌生 (首都大), 田畑仁 (東大), 平田晃正 (名工大, ※Skype 参加), 藤原修 (電通大), 松木英敏 (東北大), 宮越順二 (京大), 山崎健一 (電中研)

議題：

1. URSI-K 国内小委員会第 24 期第 1 回 (2018 年 7 月 17 日) 議事録確認
2. AP-RASC2019 および URSI-GASS について
3. JRSM2019 について
4. BioEM2022 日本招致について
5. URSI Centenary Book への寄稿について
6. 関連学会・会合に関する報告ほか
7. その他

配布資料：

24-2-1：日本学術会議 電気電子工学委員会 URSI 分科会 医用生体電磁気学小委員会 (K 小委員会) 第 24 期第 1 回委員会 議事録 (案)

24-2-2：URSI Commission K 活動状況報告

24-2-3：2019 年 URSI 日本電波科学会議 (URSI-JRSM 2019) の開催計画について (提案)

24-2-4A：BioEM2022 会場選定表

24-2-4B：BioEM2022 開催地提案の比較

24-2-5：URSI Centenary Book への寄稿について

議事内容：

- 議題 1：URSI-K 国内小委員会第 24 期第 1 回（2018 年 7 月 17 日）議事録確認
 - ・ 齊藤（一）幹事より、資料 24-2-1 に基づき、2018 年 7 月 17 日に首都大学東京（秋葉原サテライトキャンパス）において開催された第 24 期第 1 回 URSI-K 国内小委員会の議事録について説明がなされ、承認された。

（主な質問・コメント等）

- ・ 王委員長より、本小委員会の議事録は日本学術会議のホームページにて公開されることについての補足説明があった。

- 議題 2：AP-RASC2019 および URSI-GASS について
 - ・ 伊藤委員より、AP-RASC2019 の概要についての紹介がなされた。
 - ・ 佐々木委員より、資料 24-2-2 に基づいて、AP-RASC2019 の状況についての報告がなされた。
 - ・ Commission K では、オーラルセッション 6 件とポスターセッションとなった。
 - ・ 日本からは Young Scientist Award (YSA) に清水氏（NICT）とジェナ氏（東大）、Student paper competition のファイナリストにリー氏（東大）が選出された。
 - ・ URSI Centenary Book に Commission K については Joe Wiart 委員長が推薦された。
 - ・ 2020 年開催の URSI-GASS のトピックとコンビナーについて AP-RASC 開始中の 3 月に協議がなされる予定。

- 議題 3：JRSM2019 について
 - ・ 王委員長より、24-2-3 に基づき、URSI-JRSM2019 についての紹介がなされた。
 - ・ 2014 年に第 1 回が開催され、今回で 3 回目となる。第 3 回目の開催となる今回は、9 月に電気通信大学にて開催される予定。
 - ・ 各小委員会に対しては、招待講演 1 件、オーラルとポスターの各セッション合わせて 10 件程度の論文投稿が依頼されている。
 - ・ 2 月末から 3 月上旬に案内があり、論文投稿締め切りは 6 月末頃の予定。また、参加費は、1 万円程度となる予定。

- 議題 4：BioEM2022 日本招致について
 - ・ 山崎委員より、資料 2-24-4A および資料 2-24-4B に基づき、BioEM2022 の開催候補地の検討状況についての報告がなされた。

- 議題 5：URSI Centenary Book への寄稿について
 - ・ 王委員長より、資料 24-2-5 に基づいて、URSI Centenary Book に関する説明がなされた。

・ URSI の 100 周年記念の本であり, 日本における電波科学の歴史や現在の活動状況, 今後の展望等について各小委員会から寄稿する。

・ 原稿の締め切りは 6 月半ば頃になる。原稿を作成する方は, 日本の URSI-K に詳しい方が適任かと思われる。

→原稿の作成については, 多氣委員を中心に準備を進めることとなった。

・ 関野委員：本のボリュームや完成後のイメージなどはあるのか。

→佐々木委員：詳細は不明である。それほど分量は求められていないと思われるが, 全体で集めれば数百ページ程度にはなると思われる。

→伊藤委員：2018 年 12 月 20 日に送られてきたメールをみると, ページの割り当てについては, 日本は 22 ページでアメリカは 24 ページ, 各コミッションが一律 20 ページ, トータルで 500 ページとなっている。

■ 議題 6：関連学会・会合に関する報告ほか

・ 齊藤（一）幹事より, 日本磁気共鳴医学会からの案内についての紹介がなされた。

■ 議題 7：その他

< 電気学会・電磁環境技術委員会設立 20 周年記念講演会について >

・ 山崎委員：電気学会・電磁環境技術委員会では 2019 年 3 月 1 日に電中研狛江地区において設立 20 周年の記念講演会を開催する。研究会と特別講演を予定しており, 宅間董先生（元京大・元電中研）と藤原委員に特別講演をいただく予定である。

以上